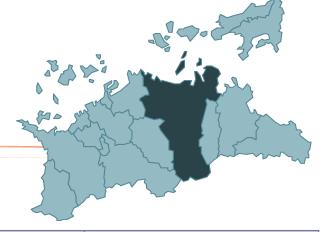
四国厚生支局地域包括ケアシステムの構築の支援に関する意見交換会

医療・介護連携の現況について

平成29年2月3日 高松市



高松市の概要



人口	人口			H29.1.1現在	
65歳以上高崗	令者数		113,765 人	11	
高齢化率			26.5 %	11	
	病院	施設数	35 ヵ所		
		病床数	5,990 床		
医療資源の		(人口10万人当たり)	1,423.7 床	H27.10.1現在	
 状況	一般診療所	施設数	408 ヵ所	(厚生労働省 医療施設調査)	
		病床数	998 床		
		(人口10万人当たり)	237.2 床		
	施設系事業所	事業所数	56 ヵ所	H27.10.1現在 (厚生労働省 介護サービス	
介護資源の		定員数	3,089 人		
状況		(人口10万人当たり)	734.2 人	施設・事業所調査)	
	在宅系事業所	事業所数	1,457 ヵ所		

医療・介護連携の推進を図る仕組み

(1) 本市における現在の体制構築の経緯(1)

平成22年度~25年度

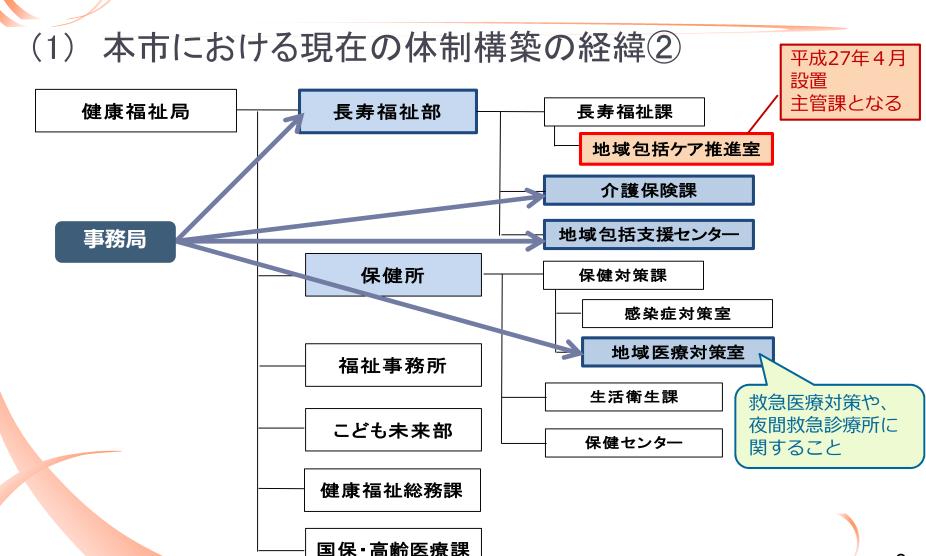
香川県が、在宅医療推進のための委員会「高松地域在宅医療推進委員会」を、高松市医師会に委託して設置、医療介護連携事業を先行的に 実施。

平成26年度~

香川県から医療介護連携事業を引継ぎ、本市において、在宅医療・介護関係者の情報共有と連携の強化に向けた関係団体の連絡調整を行うため、平成26年9月に「高松市在宅医療連携会議」を、高松市医師会に委託して設置。

その際、医療・介護の関係団体のバランス等を鑑み、委員構成の見直 しを行った。

医療・介護連携の推進を図る仕組み



医療・介護連携の推進を図る仕組み

(1) 本市における現在の体制構築の経緯③

高松市在宅医療連携会議の構成メンバー

	日は夕む	人数	県実施	市実施		
	団体名称		H25	H26	H27	H28
1	高松市医師会の代表者	3	▼			
2	高松市歯科医師会の代表者	1	▼			
3	高松市薬剤師会の代表者	1	▼			
4	香川県看護協会の代表者	1				_
5	香川県訪問看護ステーション連絡協議会の代表者	1	▼			
6	病院(地域連携室) 市民病院、高松赤十字病院	2	▼			-
7	香川県理学療法士会の代表者	1		_		
8	高松市指定居宅介護支援専門員連絡協議会の代表者	1		_	-	
9	高松市老人福祉施設協議会の代表者	1				V
10	香川県介護支援専門協議会の代表者 (香川県医師会在宅医療部会理事)	1	•			
11	高松市内の認知症疾患医療センターの代表者	1		_		
12	在宅医療・介護に関し専門知識を有するもの	1			V	\rightarrow
13	香川県健康福祉部長寿社会対策課長	1		V		
14	高松市健康福祉局長寿福祉部長	1		V		
15	<mark>香川</mark> 県健康福祉部医務国保課	1	▼		OCCOMPANIES OF THE PROPERTY OF	
16	地域包括支援センター	1	▼		事務	E
17	地域医療対策室	1	▼			TPJ
	合計委員人数		12	14	15	17

医療・介護連携の推進を図る仕組み

(2) 現在の体制による取組の実際①

高松市在宅医療連携会議

- (イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (キ)地域住民への普及啓発

- ●代表者による 方針合意の場
- ●年6回開催(2か月に1回)

便利帳作成部会

(ア)地域の医療・介 護の資源の 把握

コーディネーター 養成研修部会

(オ)在宅医療・介護 連携に関する 相談支援

多職種連携研修会部会

(カ)医療・介護関係 者の研修

退院支援•医療介護連携部会

- (ウ)切れ目のない 在宅医療と介 護の提供体制 の構築推進
- (エ)医療・介護関係 者の情報共有 の支援

医療・介護連携の推進を図る仕組み

(2) 現在の体制による取組の実際②

便利帳作成部会

在宅療養に係る相談窓口や、病院・診療所や歯科診療所、薬局、介護 事業所を始め、訪問理美容や配食サービスなどの、市内約1,700か所 の一覧と、地図情報等を掲載した「在宅ケア便利帳」を作成。



医療・介護連携の推進を図る仕組み

(2) 現在の体制による取組の実際②

コーディネーター養成研修部会

在宅医療への移行及びそのマネジメントができる人材を育成するため、 看護師や介護支援専門員などを対象として、在宅医療コーディネー ター養成研修を行う。





- ●平成27年度 38人修了
- ●平成28年度 48人受講中

医療・介護連携の推進を図る仕組み

(2) 現在の体制による取組の実際③

多職種連携研修部会

医療職、看護職、介護職等のそれぞれの専門性を理解し、「顔の見える関係づくり」を推進することで、ネットワークの構築を図る。



医療・介護連携の推進を図る仕組み

(2) 現在の体制による取組の実際④

退院支援•医療介護連携部会

退院調整が困難な実例から、具体的な解決策を見出す過程を通じて、 医療・介護関係者間の情報共有と相互理解を促進するとともに、患者 等の意思を尊重し、効果的な退院支援の推進に向けた検討会を行う。



2 医療・介護連携の推進を図る仕組み

(3) 医療介護連携の取組を行う上での課題

- ▶ 行政エリアと医師会エリアが一致しておらず、市域全体での統一的な事業展開が難しい
- ▶ 情報共有ツールを作成する場合、市内の医療・介護機関のみを 対象とすることは、実効性に乏しい



県による広域的な医療介護連携への支援や、医師会・関係 市町間の調整を期待する

医療・介護連携の推進を図る仕組み

(4) 今後の予定①

	事業項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ア	地域の医療・介 護の資源の把握	〇医療・薬局・介護サービス等の 情報を1か所で集約できるシス テムづくりに関する情報収集 〇掲載情報の調査、配布先の検 討等	〇在宅ケア便利帳の作成・配布、 高松市ホームページにアップ (PDF)	〇在宅ケア便利帳のWebページ を作成、更新	
1	在宅医療・介護 連携の課題の抽 出と対応策の検 討	〇在宅医療連携会議の開催 (2か月毎、年6回開催)	1123.27380103742		
ゥ	切れ目のない在宅医療と介護の		〇イの在宅医療連携会議等から 出された意見等を踏まえ、実施 事業等を部会で検討		
	提供体制 推進 ②H	28.10/2(日) 2812/11(日) 29.3/5(日)	〇事例検討を通じた課題の抽出 と対応策の検討(年3回)		
_	●事例検討 医療·介記 ●情報共有ツールの作成 エ 者の情報 → 場所:高松市医師会館		〇他自治体等の既存のツールの 情報収集 〇情報共有ツールのひな形を作	〇情報共有ツールの活用	
	支援	A 1 - 1-2 line 1 - lease at 1 days to be	成する 〇地域連携パスの仕様を決定す る	〇地域連携パスの作成	11

医療・介護連携の推進を図る仕組み

(4) 今後の予定②

	•						
	事業項目 平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成30年度	
オ	在宅医療・介護 連携に関する相 談支援	〇【基金】在宅医療コーディネー ター養成研修を実施	〇在宅医療コーディネータ ローアップ研修を実施	ューフォ	●在宅死: 22.9% (高松市: 14.0		
カ	医療・介護関係 者の研修	〇多職種連携研修会開催 (医師、歯科医師、薬剤師、訪 問看護師、ケアマネジャー等) (年1回)		 ●H29.1/29 (日) 午後 ●基調講演: 横須賀市の取組について「〜最期まで在宅で暮らしたい人を支える〜」 ●パネルディスカッション ●場所: 高松国際ホテル 			
+	●市	29.2/19(日)午後 民公開講座 調講演:落合恵子氏	〇市民、医療介護関係者向 市民公開講座の開催	句け	〇周知用ちらし・ポスター 作成・配布		
þ	「日本 在宅医療 介 連携に関 ● パ	に歌う子守唄〜わたしの 護日誌〜」 ネルディスカッション 所:高松国際ホテル		● H28 ● 関係	3.11/21(月)午後 市町連絡協議会 町、直島町、県、高松市	12	